

2025.8.22 農林総合研究所参観デー

# 青森県で栽培できる 品種いろいろ



(地独) 青森県産業技術センター 農林総合研究所  
水稻品種開発部 落合 祐介



# 青森県で作られている水稲品種

## 【奨励品種・認定品種】

### 1. 粳品種

まっしぐら(中生早)  
はれわたり(中生早)  
つがるロマン(中生中)  
青天の霹靂(中生中)

### 2. 糯品種

アネコモチ(早生)  
あかりもち(中生早)

### 3. 酒米品種

華吹雪、華想い、  
華さやか、吟烏帽子

### 4. 新形質米

ゆきのはな(低アミノ酸米、早生)  
ほっかりん(低アミノ酸米、早生)  
あさゆき(低アミノ酸米、中生)  
あおもりっこ(高アミノ酸米、中生)  
式部糯(紫黒米、糯)

## 【飼料作物奨励品種】

### 5. 飼料用稲

えみゆたか(飼料用米)  
ゆたかまる(飼料用米)  
あおばまる(稲WSC用)

### 6. 観賞用稲

ゆきあそび(白色葉)  
べにあそび(赤色葉)  
あかねあそび(橙色葉)  
赤穂波(穂色が赤色)  
紫穂波(穂色が紫色)  
白穂波(芒が長く白色)

産業技術センターで種子生産を行っている品種は、  
奨励・認定品種が**18品種**、  
観賞用稲が**6品種**

県外および国育成品種(一例):あきたこまち、つきあかり

# 一般主食用品種

## まっしぐら

交配組合せ：奥羽341号／山形40号

普及開始：平成17年(2005年)

作付面積（令和6年）：約3万ha（約8割）

主な特徴：現在青森県で一番多く栽培されている品種。栽培しやすく、県内では主に主食用として、県外では外食やお弁当などの業務用として利用されている。



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
中生の早	強	強	やや強	中	上中

命名の由来：青森県産米の食味・品質追求に「まっしぐら」に、そしてきまじめに取り組んでいく気持ちを込めて命名した。

# 一般主食用品種

## つがるロマン

交配組合せ：ふ系141号／あきたこまち

普及開始：平成8年(1996年)

作付面積（令和5年）：約3千ha（約8%）  
（最大約3万ha、平成18年）

主な特徴：「まっしぐら」の前の主力品種。  
青森米の評価向上に貢献してきたが、暑さでお米が割れやすい欠点があったため、R5年度で種子供給終了。



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
中生の中	中	やや強	中	中	上中

命名の由来：米づくりの里である津軽を発祥の地として、全国有数の銘柄米となるよう、青森県稲作農家のロマンを込めて命名した。

# 一般主食用品種

## 青天の霹靂

交配組合せ：夢の舞/青系157号//青系158号

普及開始：平成27年(2015年)

作付面積（令和6年）：約2千ha（約6%）

主な特徴：青森県初の「特A」品種。津軽地域の美味しいお米が作れる田んぼ・農家さんに限定して栽培されている。



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
中生の中	やや強	かなり強	強	やや強	上中上

命名の由来：晴れわたった空に、突如として現れる稲妻のような、鮮烈な存在になりたいと考えて命名した。

# 一般主食用品種

## はれわたり

交配組合せ：青系169号／青系170号

普及開始：令和5年(2023年)

作付面積（令和6年）：約6千ha(約15%)

主な特徴：**R4年にデビューした「特A」品種。**  
ご飯は粘りが強く、やわらかく、なめらかな舌ざわりで食味が良い。  
高温で発生が多くなる「胴割米」が少ない特長がある。



はれわたり



つがるロマン

熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
中生の早	やや強	強	かなり強	やや強	上中上

命名の由来：「青森の晴れ渡る空から恵みを受けた、<sup>すがすが</sup>清々しく輝くお米」をイメージして命名した。

# 一般主食用品種

## あさゆき

交配組合せ：相624／相612  
普及開始：平成27年(2015年)  
作付面積（令和6年）：約100ha  
主な特徴：**お米の中にあるアミロースというデンプンの量が少ない低アミロース米品種。**  
**柔らかくてねばりが強いご飯が炊けます。**



KOMEKUUTOのHPより引用

つがるロマン



あさゆき



もち



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
中生の早	中	やや強	強	やや強	上中

命名の由来：**お米の外観が淡く白濁し、冬の早朝にうっすらと降り積もった雪のイメージから命名した。**



# 一般主食用品種

## ほっかりん

交配組合せ：ふ系182号×4 / 北海287号

普及開始：平成23年(2011年)

栽培面積（令和6年）：約25ha

主な特徴：低アミロース米品種。成熟が早い早生（わせ）で、寒さに強いいため、主に下北地域で栽培されている。



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	食味
早生	やや強	やや強	やや強	強	上中

命名の由来：ご飯のつやが良く、もちもちして、食べると顔がほころび、ホカホカした気持ちになるイメージからと命名されました。

# もち品種

## あかりもち

交配組合せ：青系糯141号／青系136号

普及開始：平成21年

作付面積（令和6年）：約400ha

主な特徴：お米の品質（見た目）が優れ、割れ米が少ない特長があり、お餅は柔らかく、硬くなりやすく、食味が良い。



熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	玄米品質
中生の早	強	強	やや強	中	上中

命名の由来：『ふっくらとした「もち」の暖かさと柔らかさを「あかり」で表現するとともに、青森県のもち米の未来を明るく照らす』よう願いを込めて命名した。

# 酒米(酒造好適米)品種

華吹雪 BL

主に純米酒用

華想い BL

主に大吟醸酒用

吟烏帽子

寒さに強く県南でも作付け可能

華さやか

すっきりとしたお酒ができる

令和8年からBLを一般栽培。Pi35を導入し、いもちに強い。それ以外は酒の味も含めて変わらない！



# その他品種

## 紫黒米

### 式部糯



交配組合せ：朝紫／ふ系糯170号

普及開始：平成19年

作付面積（令和6年）：約1ha

主な特徴：玄米表面の皮の部分に紫色の色素（アントシアニン）をもつ紫黒米（しこまい）品種。白米に1割程度混ぜて炊くと、色素が溶け出して、お米だけで赤飯ができます。

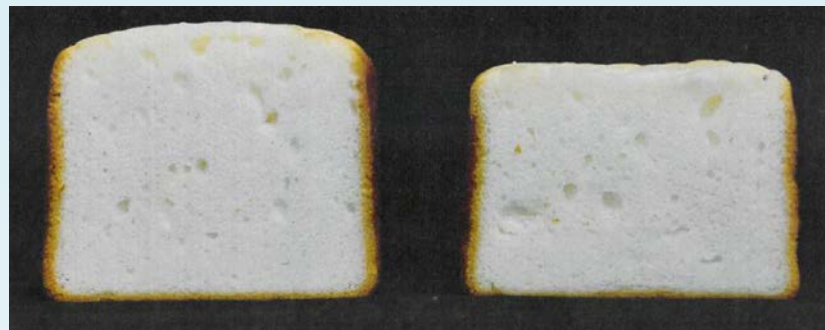
熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	玄米品質
中生の早	強	中	やや弱	中	上下

命名の由来：「源氏物語」と紫黒米の紫色の優雅で高貴なイメージを重ね合わせ、慶事の赤飯、赤餅、菓子、酒など幅広く利用されるようお願いを込めて命名されました。

# その他品種

## 高アミロース米

### あおもりっこ



あおもりっこ

まっしぐら

グルテンフリーパン

交配組合せ：さち未来／青系157号

普及開始：令和5年(2023年)

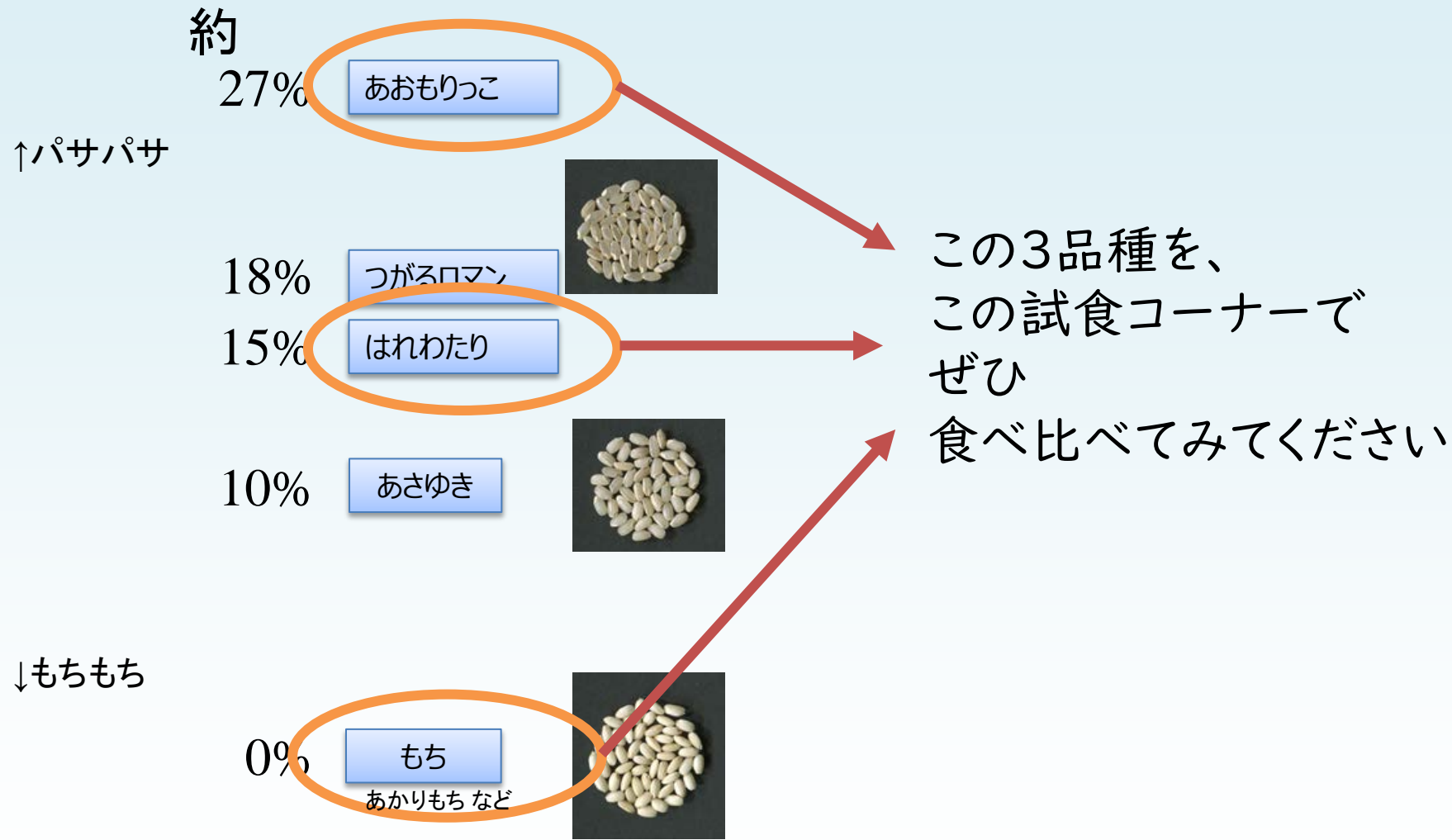
作付面積（令和6年）：約15ha

主な特徴：アミロースの割合が高い、高アミロース米品種。米粉に向く加工用品種で、米粉麺や米粉パンに向く。

熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	玄米品質
中生の早	強	強	不明	やや強	中下

命名の由来：「青森生まれの米粉用品種で作った米粉麺や米粉パンを食べて健やかに育つ子どもたち」をイメージ。

# アミロース含有率



# その他品種

## ムツニシキ

交配組合せ：陸奥光///JET/トワダ  
//フジミノリ

指導奨励年：昭和46～平成10年

最大作付面積：約2千ha（昭和47年）

主な特徴：十和田市にあった農業試験場藤坂支場育成。「コシヒカリ」、  
「ササニシキ」に対抗する良食味品種としてデビューしたが、稲が  
倒れやすいことから作付けが伸びなかった。  
黒石市ですし用米として復活し、好評を得ている。



青森県すし組合HPより

熟期	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	耐冷性	玄米品質
中生の晩	中	強	強	中	上下

# その他品種

## 飼料用米品種

えみゆたか

ゆたかまる



## 稲発酵粗飼料(サイレージ)用品種

あおばまる



# こんな品種開発にも取り組んでいます

## 田んぼアート等に向く観賞用品種



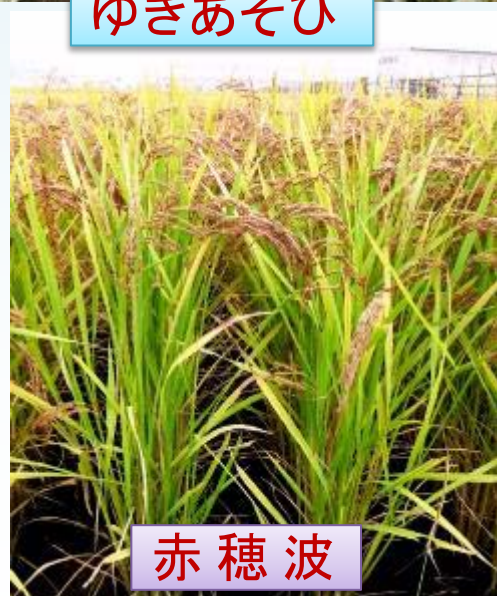
ゆきあそび



べにあそび



あかねあそび



赤穂波



紫穂波



白穂波

# 令和7年田舎館田んぼアート



あかねあそび

短稈紫(紫大黒):在来品種

ゆきあそび

べにあそび

黄稻(黄大黒):在来品種

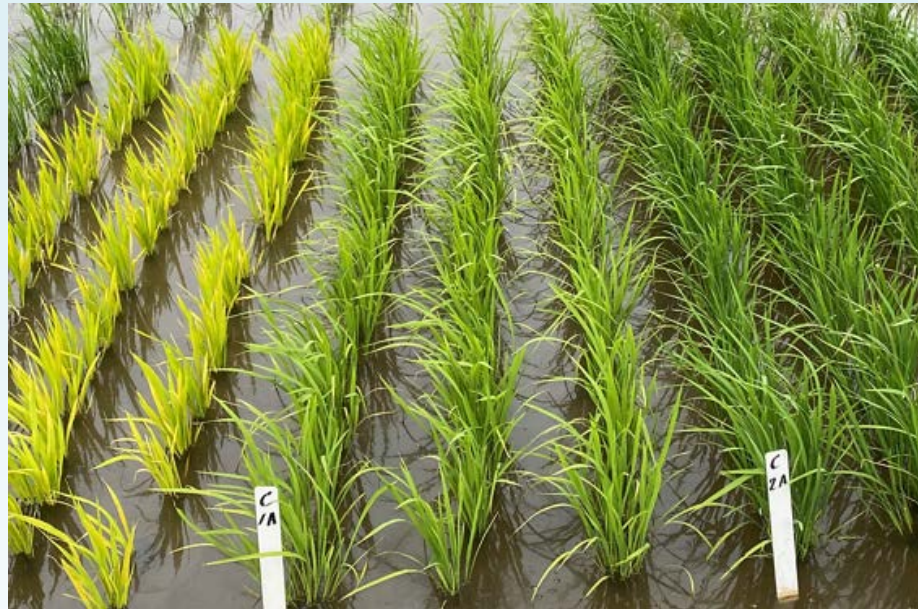
観稻(緑大黒):在来品種

?????

# こんな品種開発にも取り組んでいます

田んぼアート等に向く観賞用品種

左：黄稻(黄大黒)



右：まっしぐら

## 青系観236号

今後品種化予定。黄稻と主食用稻の間の色(ライム)の葉

↑そのため、品種名はまだ決まっています。

食卓晴れる、あおもり米。

はれわたり

ご清聴ありがとうございました。